

豊後大野市教育委員会
郷土学

400年の歴史が脈々と

10月21日（日）、『松尾区 神楽伝授400年記念感謝祭』が豊後大野市三重町松尾地区で挙行されました。大分県知事の代理として大分県教育庁の後藤教育次長様、豊後大野市選出の玉田県議会議員様、森県議会議員様をはじめ多くのご来賓の方々のご出席される中、厳粛に記念碑の除幕式が行われました。



私もお招きを受け、臨席させていただきました。秋晴れの気持ちの良い日で、松尾地区の皆さんから優しいおもてなしを受けました。この笑顔が、400年の歴史を支えているんだと、確信しました。

一口に400年と言っても、単純計算して20世代以上の繋がりが必要であり、松尾神楽関係者のご努力に心から敬意を表したいと存じます。

松尾神楽は、昭和52年（1977年）に、大分県指定無形民族文化財の指定を受けられた以降、明治神宮、伊勢神宮、出雲大社で奉納神楽を舞い、数々の輝かしい実績の下、400年に相応しい歴史を積み重ねてこられました。豊後大野市民の一人として、本当に誇りに思います。

この素晴らしい400年の歴史と松尾地区の皆様方の活躍を、豊後大野市の子どもたちに知らせ、郷土の宝物の一つとしてこれからも伝えていくことが、学校教育の役割だと思いました。

記念碑には、『悠久に舞継がれることを信じます』と刻まれています。次世代への強い願いが込められたことばです。この言葉を大切に、松尾神楽がますますご活躍されることをご祈念しています。

P.S.

感謝祭で、天照大御神が天女の舞で姿を現した、独創的な舞にはとても感動しました。神も美にはきっと負けるのでしょう。素人の浅はかな感想でした。